

□議員名：河野朋子

1 総合戦略について

論点	1 1月に素案を策定する予定が3月ぐらいになるというが、遅れている理由は何か。
回答	大学連携、大学振興との事業連携について時間を費やしていること、また、産業振興にも時間を要しており、さらに議会の提言に対して協議等の対応が必要なため、大変申し訳ないが計画よりも遅れている。

論点	1 1月策定なら予算に反映できると思うが、3月策定であれば、予算に反映させることについて支障が出てくるのではないか。
回答	総合戦略の策定自体は若干遅れているが、各課からも地方創生に関する事業については、夏の実施計画、秋の実施計画での提案はされているので、今後予算要求の中で整合性をとっていくと考えている。

論点	総合戦略に盛り込む新しい施策の公表について、地方創生協議会や議会への提示は今後どのようにするか。
回答	1月ぐらいまでには、ある程度の素案について示したいと考えている。

論点	地方創生協議会では様々なアイデアが出されているが、現時点で具体的に検討している事項があるのか。
回答	今の段階でこの事業とは言えないが、やはり理科大との関連、就業支援、商工振興、子ども・子育て支援などが今後、中心になってくるのではないかと考えている。

論点	協議会の進め方もこれまでと同じ3回程度で終わるのでなく、もっと委員間で深めていくといった運営も考えるべきではないか。
回答	今回重要業績指標を設定し、この目標と達成値を検証もする必要があるので、来年度以降、推進協議会がその検証や意見を出す機会となるような会議として実施していきたい。

2 図書館について

論点	公立の図書館が誰のため、何のためにあるのかということをお聞きか ける動きが起こっているが、本市の図書館の設置目的は何か。
回答	本市の図書館は図書館条例のもとに運営されており、設置について 定めた第1条において、図書館法第10条の規定に基づき図書館を 設置すると定めている。

論点	現在、図書館はどのような方針に基づいて運営をされているのか。
回答	「市民の求める資料・情報に必ず応える」「市民の自立と向上心を支 え、世界に通じる人が育つ」「市民の仕事と暮らし、地域の課題解決 に役立つ」「地域文化の交流と創造、まちづくりに役立つ」「先人の 知恵や生き方を学び、それを次世代に伝える」「文字・活字文化の重 要性を認識し、これを大切に考える」「市内のどこに住んでいても誰 でも利用できる」「子供へのサービスを重視する」図書館である。

論点	専門知識を持った市民が登録し、情報提供の求めがあった時に図書 館でマッチングしていくというシステムを作ってはどうか。
回答	組織として十分確立した上で、専門分野との関係をつくっていくと いうのがいいのではないか。職員で固めた中で、関係分野と連携を していくという方向で臨みたい。

論点	現在障害者向けの図書の検索がしにくい状況である。ホームページ のトップページに点字図書やデイジー図書の項目を上げて、簡単に 検索できるシステムをつくるべきではないか。
回答	今後も障害のある方についての検索なり、そういったところは充実 していきたいと思う。不備な点があれば、その声を聞きながら、十 分対応していきたい。

論点	障害者向けの図書の作成はボランティア任せになっているが、作成 に必要な資機材などを図書館で用意するという必要も必要と思う が、どうか。
----	---

回答	ボランティア団体に頼り切ってはいけないと思う。ボランティア団体等の協力も得ながら、その声を聞きながら、今後も機器などの円滑な利用が図られるように考えていきたい。
----	--

論点	現在の嘱託や臨時の割合等、職員配置については問題があると思うが、どうか。
回答	現在 22 名ということで、図書館協会の示す理想の職員数 29 名からすると少ない。身分の問題にしても長く働いていけるような体制づくりが必要である。